

一般社団法人日本人間工学会第54回理事会 議事録

1.開催日:2020年10月5日(月) 17:00~19:05

2.開催場所:zoomによる遠隔会議

3.出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):吉武良治(理事長),下村義弘(副理事長・国際誌),青木洋貴(学術),易強(企業活動),石橋基範(総務),榎原毅(編集・国際誌),笠松慶子(財務),加藤麻樹(若手支援),辛島光彦(財務),狩川大輔(安全),鴻巣努(表彰),小谷賢太郎(国際協力),境薫(若手支援),三林洋介(戦略ロードマップ),佃五月(企業活動),中川千鶴(総務),中本和宏(戦略ロードマップ),松岡敏生(広報),山田クリス孝介(広報),横山清子(学術) [20名]

(理事兼支部長):本多薫(東北),斎藤真(東海),久保博子(関西),内野英治(中国・四国),村木里志(九州・沖縄,編集・国際誌) [5名]

[計:25名]

(欠席者):平沢尚毅(北海道),矢口博之(関東)

・監事:青木和夫,大須賀美恵子(第62回大会長)

・オブザーバー:佐藤洋(JENC),堀江良典(表彰),八木佳子(認定機構)

・事務局:米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4.議事概要

定足数14名を超える25名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第1号議案 2022年の第63回大会開催地について(理事長)

2022年の第63回大会開催地について、吉武理事長より、中国・四国支部に検討していただいた結果改めて広島県尾道市(村田厚生大会長)で開催したいとの説明があり、承認された。新型コロナウイルスの影響が2022年大会時にあるかはまだ分からないが、第63回大会ではオンライン開催も含めて今後検討することを確認した。

(2) 第2号議案 エディトリアル創設(編集委員会)

人間工学誌のエディトリアル創設について、榎原編集委員長より提案があった。エディトリアル創設によるねらい(アーカイブ、人間工学分野における研究の重点課題を明示等)や運用方法(執筆形態①編集委員長または編集委員がその時々で執筆したい内容を執筆、②編集委員会が直接当該専門家に依頼する場合の2種類を想定)の詳細について説明があり、承認された。56巻6号(12月号)から運用開始予定。

(3) 第3号議案 査読者表彰制度の創設(編集委員会)

査読者表彰制度の創設について、榎原編集委員長より提案があり、審議の上承認された。表彰の対象期間や評価基準について意見があり、詳細は編集委員会で検討することとなった。賞の名称についても意見交換があった。今後、表彰委員会とも連携して進めていくことを確認した。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事より、一般社団法人日本人間工学会第 52 回、第 53 回理事会議事録、2020 年定時社員総会議事録について報告された。

(1-2) 会勢報告 (8 月末)

2020 年 8 月末現在、会員数 1,358 名、賛助会員 27 社 28 口。

(1-3) メールによる審議および報告事項等の結果について

第 52 回議事録案、社会発信のための意見募集のお願い(2020 年 7 月豪雨)、2020 年研究発表奨励賞受賞者、IEA communication survey の 4 件のメール審議の結果報告があった。

(1-4) 全国大会における講演集の呼び名・位置づけについて

石橋総務理事より、第 52 回理事会から継続審議となっていた大会講演集の名称や位置づけについて、発行人の問題含め、今後のデジタル化を見据え、編集、広報などの委員会と連携を取って進めていく旨、説明があった。2021 年の第 62 回大会までには方針を決定する予定。

大会講演集が特別号になった経緯は、定期的に発行する学会誌の一部として郵送料(学術刊行物として発送)を抑えるためだったとの情報があった。

(2) 財務報告

辛島財務理事より、2020 年 8 月度収支計算書(案)が提示され、会計状況の報告があった。

(3) 第 61 回大会報告

村田厚生第 61 回大会長作成の「日本人間工学会第 61 回大会 準備・論文掲載処理等に関する会計報告」を基に、石橋総務理事より報告された。J-STAGE への論文掲載数と会計について説明があり、1,087,143 円を JES へ寄付していただけたとの報告があった。吉武理事長より、大会長及び大会実行委員会に対して大会への尽力及び寄付について謝辞が述べられた。

(4) 第 62 回大会準備状況

大須賀大会長より、大会準備状況について説明があった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を今後も注視するが、現状ではハイブリッド開催(現地とオンラインの併催)を検討中で、現地会場では密を避けるように準備をしている。大会講演集を J-STAGE で大会初日に公開する方向で検討中。予算の概要についても説明があった。大会 WEB サイトは 10 月下旬公開予定。

クイックレビュー制度は第 62 回大会では実施しない旨、榎原編集委員長より補足があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 広報委員会

山田委員長より、各支部大会講演集を学会 WEB サイトにて公開した旨報告があった。

(5-2) 編集委員会

榎原委員長より、56 巻 5 号発行状況、委員会活動状況(迅速な査読対応等)の報告があった。また、運営方針と査読委員会の創設計画について説明があった。

(5-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、IEA 評議会(オンライン:10/20)の開催、IEA からのアンケート(communication and collaboration survey)提出報告、2021 年 IEA 大会(2021/6/13-18)、日韓シンポジウム(2020/10/28-31)、ACED(2020/12/2-4)開催予定との報告があった。

(5-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、会議開催状況、投票事故について、また SC4 氏家氏が経済産業大臣表彰を受けたとの報告があった。

(5-5) 表彰委員会

堀江委員長より、第 61 回大会の優秀研究発表奨励賞の提示があった。優秀研究発表奨励賞は第 62 回大会でも実施予定であり、内容については大須賀大会長と検討していく旨説明があった。

(5-6) 安全工学委員会

狩川副委員長より、委員会メンバが決定したと報告があった。

(5-7) 学術担当

横山担当理事より、横幹連合理事は横井郁子先生が引き続き担当されている旨報告があった。

(5-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より、機構活動の報告があった。A方式試験(9/12実施)が会場トラブルにより30分遅れて開始になったことと今後の対応策について、および「コロナウイルス感染症対応に関する緊急調査」の結果をHP掲載している旨説明があった。

(5-9) 若手支援委員会

加藤委員長より、学部3年生が学会に参加する機会を設けられないかと理事より提案があり、関東支部大会で対応できないか検討している旨、報告があった。

(5-10) 企業活動推進委員会

易委員長より、大会に向けてイベントを企画していきたいとの報告があった。

(5-11) 人間工学戦略ロードマップ委員会

三林委員長より、ワーキング設置の準備段階であるとの報告があった。

(5-12) 国際誌検討委員会

榎原委員長より、年内キックオフ開催予定との報告があった。

(5-13) 子どものICT活用委員会

吉武理事長より、柴田委員長のメディアでの活動などの報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

吉武理事長より、支部大会を11/28に開催との報告があった。

(6-2) 東北支部

本多支部長より、7/22-31に電子メールによる支部会、8月に支部役員会を開催し予算の組み直しを行ったこと、また12月(山形中心)と3月(宮城中心)に研究会を開催予定であるとの報告があった。

(6-3) 関東支部

吉武理事長より、関東支部大会の準備状況について報告があった。

(6-4) 東海支部

斎藤支部長より、10/31開催予定だった研究大会を1年延期するが、修了要件等で発表が必要な方のために10/31にオンラインで発表会を開催し対応するとの報告があった。

(6-5) 関西支部

久保支部長より、12/12の支部大会の準備状況について報告があった。

(6-6) 中国・四国支部

内野支部長より、役員会をオンライン開催予定との報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

村木支部長より、12月後半に支部大会をオンラインで開催予定との報告があった。

(7) 協賛等の依頼

石橋総務理事より、合計17件の協賛依頼について報告された。

(8) その他

(8-1) 研究部会のイベント活動について

吉武理事長より、各研究部会のオンラインイベントと情報発信等の活動について報告があった。

(8-2) 今後の理事会活動について

次回以降の理事会予定について、説明があった。

(9) 閉会

以上の議事を終え、19時05分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2020年10月5日

代表理事

吉武良治^印

監事

青木和夫^印

監事

大須賀美恵子^印